

# 特別史跡 さきたま古墳群

・・・いかにして守られてきたか・・・  
何が解明されたか・・・

令和5年

日時

1月19日(木)受付 13:00

講演 13:40~15:25

会場

行田市商工センター401研修室

定員：130名



夏夜の二子山

● 令和2年3月、埼玉古墳群は全国で63番目、古墳群としては昭和27年以来67年ぶり3例目、令和初の特別史跡に指定されました。特別史跡とは、「史跡のうち学術上の価値が高く、我が国文化の象徴となるもの」とされ、有形文化財でいう「国宝」に相当します。

さて、今では古墳公園として整備され、県内外から多くの来園者が訪れますが、実は破壊の危機があったことはあまり知られていません。

また、小学校の教科書にも掲載される稻荷山古墳出土の国宝「金錯銘鉄剣」は、幾重もの偶然が重なって発見された経緯があります。

本講演では、埼玉古墳群の保存と整備、それぞれの古墳の最新の発掘調査の成果、未だに解明されていない埼玉古墳群の謎などについて、解説いたします。



国宝金錯銘鉄剣(撮影 1.2.:佐藤様)

講演会 講師：佐藤康二様より

埼玉県立さきたま史跡の博物館 学芸主幹

講師

佐藤 康二 (さとう こうじ) 先生

※ マスク装着、各自で新型コロナ感染対策の準備をお願いします。

※ 問い合わせ： 行田市民大学同窓会 会長：尾畑宜成 048-554-9407

担当：同窓会 企画研修委員長：田口修 048-554-7778 携帯 090-1659-4576